

来春「経営情報学部」を新設

2学部3学科に

5カ国へ61人が留学

(4・5面)

(2・3面)



弥彦村と「包括的連携協定」

(8面)

国際交流フェア・高校生英語スピーチコンテスト

(8面)

編集部では表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は [nouischannel@nouis.ac.jp](mailto:nuischannel@nouis.ac.jp) までお問い合わせください。

CONTENTS

3面
オープンキャンパス案内

5面
「一人暮らしの会」
初回に17人参加
平成30年度
入試日程概要一覧

6面
にいがた産業創造機構・県と連携
企業に調査、海外出展を体験
ベトナム・ホーチミン市
「JAPAN Niigata Fair 2017」

7面
「笹山じょうもん市」参加
高・大連携で大盛況
「表彰奨学金」20人に
教員の活動

8面
「みづき会」総会・20周年祝賀会
同窓生、教職員350人参加



NUISホームページ
<https://www.nouis.ac.jp>
(スマートフォン対応)



Facebookページ
<https://www.facebook.com/nouis.face>



LINE@
@nouis-line3111
LINEの「友だち追加」から
「ID検索」で登録



Twitter
@nouis_nabbit

実学と教養を育む 2学部3学科



◇経営学科では、具体的に
どんなことを学べますか
経営管理論をはじめとし

2年次以降は、専門科目に
加え、研究室に所属して応
用ゼミナールや研究ゼミナ
ール（情報システム学科で
は、情報システム演習と卒
業研究）で専門知識を修得
し、企業や地域との産官学
連携プロジェクトにも加わ
ります。

新しい価値、しなやかに創造する

企業の未来、切り拓く人材養成

◇情報システム学科では、具体
的にどんなことを学べますか

組みます。社会がますます不確
実な様相を示す状況の中で、し
たかにしなやかに生きていく
「自立（律）的な人財」として
育つよう期待しています。

◇どんな資格が取得できますか

在学中に取得できる資格は広
い範囲にわたります。経営学科
では日商簿記検定、F.P.（ファ
インシャル・プランニング）技
能検定など、また情報システム
学科では情報処理技術者試験、

◇経営情報学部の特色は
経営情報学部には、IT（情
報技術）を生かした経営学を重
点的に学ぶ経営学科と最先端の
ITや社会を変革する情報システ
ムを重点的に学ぶ情報システム

ム学科があります。「情報にた
けた経営人材」、「経営にたけ
た情報人材」に対する社会の要
請が根強いことから、どちらの
学科に所属しても経営と情報シ
ステムの両方を学べるようカリ
キュラムを構成しています。初
年次は両学科とも全学生が少人
数の基礎ゼミナールをはじめ、
経営学入門、情報システム、經
営情報論、統計学をベースに幅
広く教養科目を学びます。

経営情報学部

本学は来年4月に「経営情報学部」を新設し、「経営学科」と「情報システム学科」を設置、2学部3学科体制になります。企業経営や行政運営、県内の経済活動に貢献する人材育成へ、IT（情報技術）を生かした経営学と、最先端のAI（人工知能）、I.O.T（モノのインターネット）にも精通する有能な人づくりを明確にします。「経営学科」は、最新の研究分野と共に「产学」連携で企業の現場も経験できる「実学」を推し進めます。学生は高度な情報システムの官能教育を修得し、情報化社会で活躍できるビジネスパーソンを目指します。「国際学部」は、英語教育の強化に加えて、ロシア語、中国語、韓国語のレベルアップを図ります。派遣留学や海外実習のほか、複数言語を同時に学べるシステムも用意します。様々な国々の歴史・文化・政治を幅広く学び、多様な価値観を養い、グローバルに活躍できる国際人を育成します。

て戦略、組織、マーケティング、会計や生産管理などの経営関連科目を学びます。身の回りの「混雑」「渋滞」などの課題を解決する経営シミュレーション、起業を成功させるビジネス・プランの作成演習を行う起業論、また企業数の99%、雇用の約7割を占める中小企業の実態や国の政策を学ぶ中小企業論なども実務に役立ちます。

◇どんな人材を育成しますか
より深く、より広く学び、生きる力を身につけ、社会に出ても継続して研鑽する人材を育成します。経営学科では企業を経営できる人材、支援できる人材に加え、地域の課題解決を提案・支援・実現できる人材を養成します。情報システム学科は、情報システムという仕組みを作り利活用する人材に加え、新たにデータや情報から新しい価値を創造できる人材の養成に取り組みます。社会がますます不確実な様相を示す状況の中です、しめたかにしなやかに生きていく「自立（律）的な人財」として育つよう期待しています。

◇お願いします
お高校生に向けてメッセージを

経営情報学部は、経営と情報どちらの学科でも、経営学や情報システム学の要点は学べます。約7割の教員が実務経験を有し、様々な資格を持つ教員も多いので、国際化・情報化が進むなか新潟の未来を切り拓く実学としての経営学と情報システム学を学ぶ場として本学は恵まれた環境にあります。ぜひ本学のWebページで学ぶ生たちの活躍、教員の教育研究活動やプロフィールをご覧ください。自分の可能性を発見し、新潟の未来を、そして若者たちの未来と一緒に創るために、ぜひ本学の扉をたたいてください。お待ちしています！

◇就職や、卒業後の進路
経営学や情報システムに関連する幅広い基礎知識とゼミナーも開催され、学外実習、カナルや演習の経験、卒業後は流動性を身につけ、卒業後は流通業、製造業、金融機関、公共サービス部門などで活躍することができます。両学科とも大学院進学を希望する学生には個別に指導します。

◇就職や、卒業後の進路
経営学や情報システムに関連する幅広い基礎知識とゼミナーも開催され、学外実習、カナルや演習の経験、学外実習、カナルや演習の絏

来年4月「経営情報学部」を新設

國際學部

◎ 学部・学科の特色

国際学部国際文化学科が誕生して今年度で4年目です。

来年3月には国際学部の第1期生が卒業します。国際学部では、読む、書く、話す、聴くといった英語の基礎的なスキルを1年のうちに身につけてもらうため、英語基礎、C E P 1、2を必修科目としました。この成果は着実に現れ、1年次後期段階で英検2級合格者が各学年とも40人を超え、準1級にも毎年合格者が出ています。TOEICについても最高点が800点を上回る学生がいるよう状況になつていま

は、露・中・韓および英語集中コースと分かれ、それぞれの選択言語を学びます。これまで上記のいづれか一言語を選択するという形をとつてきました。しかし、国際学部に移行してから、学生の志向が大きく変化し、複数言語を学びたいと強く希望する人たちが増えています。現行のカリキュラムでは、このような希望に十分に応えることができません。そこで、来年度を目途に言語関係のカリキュラムを大きく変更するとともに、言語科目的取得単位数を増やし、複数の言語を同時に学べるような形にしたいと考えております。

育では国際化に対応できる最新の知識や考え方を学ぶための科目が数多く配置されています。また、昨年度から新たに海外実習A、Bを設けました。この科目は、学生自らが現地NPOなど実習先を見つける、あるいは海外の大学での語学セミナー等に参加するといった様々なケースが考えられます。昨年度は14名の学生が台湾、フィリピン、ニュージーランド、カナダ、ロシア、カンボジアなどで研鑽をつみました。

このほか、国際学部では国際交流インストラクターという独自のプログラムを開発

○取得できる資格・検定
言語関係では、英検、TOEIC、観光英検のほか、露・中・韓語それぞれの検定試験です。また、ワード、エクセルやパワー・ポイントの実践的運用能力を証明するMOS(マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト)試験についても全員合格を目指します。さらに、公務員を希望する学生

このような混沌とした時代を生きなければなりません。そのためには常にクローバルに思考し、地元に生かすといつた考え方がますます重要になるでしょう。

「複数言語」同時に学べるようになる

グローバルな思考、地元に生かす

○どんなことが学べるか
国際学部の学びは、外国語教育と国際理解教育の2本の柱からなります。国際理解教

“Think Globally Act Local”を実現する人材の育成、これこそが地方に位置する大学の国際学部としての使命だと思います。国際化の波は中央、地方を問いません。しかも、その波は多くの場合予測不能です。しかし、皆さんは

し、実績をあげています。これは国際交流インストラクタ－演習等の科目を履修した学生が一グループ10人ほどで県内の小・中学校や高校に派遣され、ワークショップ形式で授業を行うというもので、大学で学んだ知識を活用して様々な国際問題を生徒たちと一緒に考えます。

に対する公務員試験対策講座が開講され、格安で受講できるよう配慮されています。なお、これらの試験・検定に合格した際には、難易度に応じて資格取得奨励奨学金が授与されます。



お問い合わせ先 入試・広報課 ☎ 950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1 TEL 025-264-3777(直) FAX 025-264-3780 E-mail nyushikouho@nus.ac.jp

3



派遣留学 中国 北京師範大学



派遣留学 ロシア ウラジオストク国立経済大学



派遣留学 アメリカセントラルミズーリ州立大学

派遣留学(国際文化学科)と海外夏期セミナー(情報システム学科)に参加する学生の壮行会が6月15日、本校みずき野キャンパスの国際交流センターで開かれました。今年度はアメリカ22人、ロシア8人、中国4人、韓国15人、そしてカナダ12人の合計61人が、8月6日からのカナダ夏期セミナーを皮切りに1~4ヶ月余の海外生

活を体験してきます。壮行会では留学奨学金の授与式が行われ、平山征夫学長が奨学金証書を贈り、異文化交流を大いに楽しんでと激励。参加した学生は目標や期待を語り合い、各コース代表が「積極的に充実した日々を送り、語学をスキルアップしたい」などと抱負を述べ、実り多い帰国を誓いました。



国際交流センターで開かれた壮行会で、61人全員が集合

希望を胸に 5カ国へ61人

語学を磨き 異文化交流

アメリカコース
藤田 菜乃花
(国際文化学科2年)

私は初めて家を離れて外国で生活することになります。日本で経験できないことをたくさん経験できると思います。それは私の英語を上達させるすばらしい機会であり、現在のアメリカ社会と多様な文化を知ることができます。私は世界中から来る人たちと一緒に行動します。

友達になれるのを楽しみにしています。滞在中はよりアクティブに、ポジティブに行動するよう心がけます。

ロシアコース
林 郁果
(国際文化学科2年)

私は初めて家を離れて外国で生活することになります。日本で経験できないことをたくさん経験できます。それは私の英語を上達させるすばらしい機会であり、現在のアメリカ社会と多様な文化を知ることができます。私は世界中から来る人たちと一緒に行動します。

今の私は、異国で学び、生活することがとても不安です。ホームシックなどではなく、自分の情けなさをあらゆる場面で痛感することになるのではないかと思つていてからです。しかし、やはりそんなことを思つてているうちには、情けない今まで。だからこそ、日本にいるうちに言語学習を精一杯頑張り、留学中は全てに頑張る。日本に帰国してからも、留学を考えている学生へのフィードバックを頑張ります。先生方や両親など様々な人の期待に応えるため、それよりも自分自身の人生を豊かにするために、シンプルな言葉ですが精一杯「頑張りたい」と思っています。

中国コース
丸山 莉奈
(国際文化学科2年)

中国留学は語学力の向上はもちろん、中国の文化に直接触れるとのできる良い機会だと思つています。そのために、中国語を積極的に話し、コミュニケーションをとりたいです。また逆に日本の文化を広める機会だと思います。留学先で中国だけでなく、世界の様々なな

中国コース
丸山 莉奈
(国際文化学科2年)

中国留学は語学力の向上はもちろん、中国の文化に直接触れるとのできる良い機会だと思つています。そのために、中国語を積極的に話し、コミュニケーションをとりたいです。また逆に日本の文化を広める機会だと思います。留学先で中国だけでなく、世界の様々なな

の不安を解消し、より充実した
問い合わせ交換をして日々の生活
の初の「一人暮らしの会」が
月26日、本校の喫茶「C O N T
I N U E」で開かれました。一
人暮らしをする学生同士が知り
合いで情報交換をして日々の生活
が充実しました。

一人暮らしの会 仲間の輪広げよう 初回に17人参加



お互いに出身地や休日の過ごし方、
お薦めスポットなどを教えていた

学生生活が送れるように企画。
初回は17人の学生が参加しました。
会は自己紹介に始まり、夕
食を食べながら学年や学科を越
えて日常生活の話題で盛り上が
りました。また、2年生の片原
彬さんが名乗りを挙げて初代
の会長に就任。今後は学生が主
体となり、次回は秋に開くなど
定期的に交流会を企画し、仲間
の輪を広げて活動することを確
認しました。参加した学生からは、近くに
住む先輩と話ができる同じよう
な不安を感じていることが分か
った、次回も参加したいなどの
声が聞かれました。

(学務課)



派遣留学 韓国 慶熙大学校



夏期セミナー カナダ アルバータ州立大学

今回、派遣留学に参加できること、そして奨学金をいただけたことを、とても光栄に思います。私は一生に一度のチャンスと思い、大いに楽しめたいと思います。私は実家暮らしなので、家族と4ヵ月間も離れるのは初めてで正直とても不安ですし、他のコースは寂しいですが、それ以上のものを得られるのではないかと思つてく遊べ」の言葉どおり、一生懸命

よく学び、よく遊ぶ
木根渕 真奈（国際文化学科2年）

国々の留学生と出会うことができるのでないかと期待をしていました。そこでたくさんの友達を作り、いろいろ交流をしたいです。4ヶ月間で多くのことを学び、大きく成長して帰つてきました。一生の財産になるような留学にしたいと思います。

私は将来、海外を拠点に仕事をしたいと考えています。カナダは、多種多様な文化や人種で成り立っていて、1つの国ながら、一度に多くの文化や人たちと触れ合うことができると思うので、今回の留学に参加しました。カナダでは、多くのネイティブスピーカーと触れ合い、言語についてだけでなく、その様々な文化についても学ぼうと考えています。

多様な文化も学ぶ
矢川 達也（情報システム学科2年）

勉強して、羽目を外さない程度に遊んで、日本ではできないような経験をたくさんしてみたいですね。慶熙大学校には世界中からたくさんの留学生が集まると言聞いたので、いろいろな国の人と交流してみたいですね。この機会を生かして、様々なことを吸収し、成長して帰つてきます。

平成30年度 入学者選抜試験概要（要約一覧）

※詳細は本学学生募集要項をご確認ください。※出願期間内必着。

入試区分	募集人員	出願期間	試験日	試験地	試験実施教科・科目	合格発表日	入学手続期間
推薦入学試験 高校長推薦	指定校制	経営情報学部 情報システム学科 国際文化学科	35 25 30	29年11月1日㈭ ~ 11月13日㈪	新潟	本学が指定校と定めた高校長あてに推薦依頼を行います。	29年11月24日㈮ ~ 12月8日㈮
		経営情報学部 情報システム学科	5			〈教科成績重視型〉面接・小論文 推薦要件：全体の評定平均値3.5以上または、国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語(英語)のうち、いずれか1教科の評定平均値が4.0以上であること。	
		国際文化学科	10			〈資格・検定重視型〉面接・小論文 推薦要件：本学が定めた資格・検定に合格、あるいは成績を修め、かつ全体の評定平均値が3.2以上であること。 ※対象資格・検定は、学生募集要項で確認してください。	
	公募制 ・教科成績重視型 ・資格・検定重視型	経営情報学部 情報システム学科	若干名			面接・小論文・競技実績 ※対象種目は、学生募集要項で確認してください。	29年11月24日㈮ ~ 30年1月16日㈬
		国際文化学科	若干名			面接・小論文・競技実績 ※対象種目は、学生募集要項で確認してください。	
		国際文化学科	若干名			面接・小論文・競技実績 ※対象種目は、学生募集要項で確認してください。	
	前一期 (第3志願制)	経営情報学部 情報システム学科 国際文化学科	35 25 45	30年1月5日㈮ ~ 1月22日㈪	新潟 上越 長岡 新発田	・国語：国語総合(現代文)・現代文B ・数学：数学Ⅰ・数学A ・外国語：コミュニケーション英語Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ・英語表現Ⅰ,Ⅱ 上記3教科の中から2教科または3教科を選択(3教科受験した場合は高得点の2教科を合否判定に使用)。	30年2月8日㈭ ~ 2月15日㈭
		経営情報学部 情報システム学科	5	30年1月13日㈯ ~ 1月14日㈰	30年1月13日㈯ ~ 2月13日㈰	個別の学力検査等は行わず、平成30年度大学入試センター試験の成績で判定。各学部の利用教科・科目の中から2科目以上選択。 配点：各教科100点(3科目以上受験した場合は高得点の2科目を合否判定に使用。国語は近代以降の文章のみ利用。外国語(英語)はリスニングを含む)。※各学部で利用教科・科目は異なりますので、学生募集要項で確認してください。	30年2月22日㈭ ~ 3月2日㈮
		国際文化学科	10	一般入学試験前期と同様。		30年3月16日㈮ ~ 3月23日㈮	
	後一期 (第3志願制)	経営情報学部 情報システム学科 国際文化学科	5 5 5	30年2月23日㈮ ~ 3月8日㈭	新潟	一般入学試験前期と同様。	30年3月16日㈮ ~ 3月23日㈮
		経営情報学部 情報システム学科	若干名	29年11月1日㈭ ~ 11月13日㈪	新潟	面接・小論文	29年11月24日㈮ ~ 12月8日㈮
		国際文化学科	若干名	29年11月19日㈰			
入学時の 奨学金		高校長推薦 入学試験合格者	合格後に希望者に対し2月25日「奨学金試験」を実施し、 その結果、成績上位者に年間授業料の半額を給付します。	一般入学試験(前期) 受験者		一般入学試験(前期)の試験結果から、上位成績者に年間授業料の半額を給付します。	

○入試と奨学金の詳細については入試・広報課までお問い合わせください。TEL025-264-3777(直) FAX025-264-3780 E-mail nyushiweb@nus.ac.jp

ベトナムで県産品の販売を学ぶ

藤田研究室



新潟市の丸榮製粉で製品販売をインバウンドする、左から
山本瑞貴さん、戸川和志さんと藤田美幸准教授



ホーチミン市内のイオンモール タンフーセラドンで
県産品のチラシを配って説明する戸川和志さん

藤田美幸研究室は、公益財団法人にいがた産業創造機構(NICO)と新潟県の共同事業「ベトナムにおける県産品の販路拡大の可能性についての調査」(今年3月12日~16日に同行して、海外展開をする県内企業の市場戦略や経営の実践について学びました)。

れました。

また、NST新潟総合テレビのASEAN支局や総合コンサルティング会社のAGSホーチミン支店、イオンベトナム社を訪問して、現地の経済環境を学びました。

にいがた産業創造機構・県と連携

企業に調査、海外出展を体験

これは、県内企業の経営革

新や新分野進出、国際展開など

(にいがたフェア=3月13日

3月13日からは、ホーチミ

ン市イオンモール タンフ

ーセラドン店で開いた「にい

がたフェア」で、情報システム

課)の共催で初めてベトナム

南部ホーチミン市で開催した

社・新発田市)

など出展各社

を訪ね、商

品や海外戦

略を聞き取

り調査しま

2月初旬、小麦粉・乾麺の

販売、やくら製菓株式会社(本

部・新潟市)

3月卒業)と戸川和志さん

(同)が「うまさきつしり新

潟」の赤い法被を羽織つて、

現地のお客さまに笑顔と身振

り手振りで伝え、県産品をP

Rしました。その様子は、テ

レビの県内ニュースで報道さ

れた。

3月卒業)と戸川和志さん

高・大連携で大盛況

内田亨研究室は6月4日、十日町市の「笛山じょうもん市」に参加して、地元の方々や高校生と協力して祭り行事を盛り上げました。同市中条の笛山遺跡は、縄文時



縄文絵あわせを小学生に説明する小池優太さん



竪穴式住居で縄文人を装う佐藤広樹さん(中央)

代の火焔型土器（県内唯一の国宝指定）が出土し、笛山縄文館や竪穴式住居跡が復元保存されています。「笛山じょうもん市」は火焔型土器のみこし行列や「縄文太鼓」、

歌や踊りのステージなどイベントで地域を元気にしようと毎年開催されています。

私たちは、おみくじと縄文かるたを取り大会を企画し、おみくじは堅穴式住居で行いました。そこで、地元の人たちの「昔はどこの家も囲炉裏だた」、「おれはこの土地が大好きなんだ」という話を聞き、強い「地域愛」を感じました。企画から設営まで入念に準備を整え、多くの来場者に楽しんでもらえたと思います。

かるたの絵札写真は、中条地区振興会とNPO笛山縄文の里の方々に協力してもらい、十日町高校と十日町総合高校の写真部の生徒、教員とともに撮影を進め「高・大連携」の実践になりました。写真の絵柄をもとに読み札の句と合わせて絵札を作る作業は、連日夜遅くまで続けて、イベント当日は小学生から大人にも喜ばれ、うれしい手応えでした。

(情報システム学科)
小池 優太 佐藤 広樹
3年

教員の活動 (本人申告による)

(慶應義塾大学)

・(2017年3月31日)『アナイス・ニンの日記』(水声社)翻訳

山田 裕史(国際文化学科講師)

・(2017年6月17日)「カンボジア：一党支配体制下の政軍関係」日本比較政治学会 2017年度研究大会(成蹊大学)

・(2017年6月24日)「人民党一党支配体制下のカンボジアにおける開発と政治」アジア政経学会 2017年度春季大会(一橋大学)

3)競争的資金獲得研究

内田 亨(情報システム学科教授)

・(2017年4月～2020年3月)日本学術振興会 基盤研究C一般 "Happiness in Global Companies: Comparative Enablers and Impact on Performance" 研究分担者

藤田 美幸(情報システム学科准教授)

・(2016年6月～2017年3月)新潟市西区自治協議会提案事業 研究業務委託費「商店街等活性化研究・実践事業」
・(2016年9月～2017年8月)中部スノーボード協会より寄付金獲得「ウインターポーツツーリズム－日本とアジアの比較研究－」
・(2017年4月～2019年3月)（財）電気通信普及財團研究助成「デジタルとアナログを融合させたハイブリッドまちあるきの研究」

4)委員・社会的活動・記事・その他

臼井 陽一郎(国際文化学科教授)

・(2017年5月27日)産業研究所講演会「規範パワーEUの行方一危機の真っ只中でEUのアイデンティティについて考える」関西学院大学図書館ホール

内田 亨(情報システム学科教授)

・(2017年3月1日)NOSAI新潟 コンプライアンス委員会

佐藤 泰子(国際文化学科講師英語)

・(2017年6月16日～7月28日)新潟県高齢者大学 実践講座「まちかどふれ愛英会話」

藤田 美幸(情報システム学科准教授)

・(2016年7月1日～)（財）新潟観光コンベンション協会 地域内連携もてなし推進事業 ワーキング・グループ委員
・(2017年4月1日～2019年3月31日)新潟市西区自治協議会委員
・(2017年5月26日)新潟日報社主催「地ラボニイガタ」プロジェクトに藤田美幸研究室より採択、新潟日報朝刊に掲載

平成28年度に学業や課外活動において優秀な成績を修めた学生たれや金の授与式が6月28日に行われ、平山征夫学長から20人に証書と奨学金が授与されました。学長の激励に、学生たちは一層の活躍を誓っていました。表彰学生は、学業優秀者(前年度の修得科)

「表彰奨学金」20人に

学業や課外活動で優秀な成績、活躍

に奨学金が授与されました。(学務課)

学業成績優秀者	4年次生	川端 夢未 鈴木 美裕 土田 康裕
	3年次生	五十嵐 由衣 熊田 愛菜 六本木 瑞季
	2年次生	貝津 拓実 金子 和樹 上村 萌恵
課外活動功労者	4年次生	上村 果穂 坪谷 菜生
	3年次生	遠藤 希 本間 千華
	2年次生	石田 真由 西野 千咲
情報システム学科	2年次生	高橋 啓 日本女子プロゴルフ協会(LPGA)最終プロテスト進出
情報システム学科	2年次生	猪俣 慧樹 第47回北信越女子陸上競技選手権大会男子4×100mリレー 優勝
国際文化学科	4年次生	菅家 新治 「話してみよう韓国語」第8回新潟大会創作スキット部門 奨励賞(3位相当)

1)研究論文・図書

區 建英(国際文化学科・教授)

・(2017年)潘朝陽主編「孫中山『民權主義』の時空轉換與創造」「儒家道統與民主共和」國立臺灣師範大學出版中心。(41-76頁)

白井 健二(情報システム学科・教授)

・(2017年)"Determination of allocation rate of production projects utilizing risk-sensitive control theory". International Journal of Innovative Computing, Information and Control Vol.13, No.3, June, 847-871

近山 英輔(情報システム学科・教授)

・(2017年)"Transcendental Numbers in Wonderland", Math Horizons 24, 22

2)学会・研究会・講演等

佐藤 泰子(国際文化学科・講師英語)

・(2017年5月11日)"The Effectiveness of MOOCs to Japanese University Students: A Case Study of EFL Learning Through Focus on a Self-Directed Learning", The International Academic Forum The Asian Conference on Language Learning 2017 Kobe, Japan (Art Center Kobe)

佐藤 若菜(国際文化学科・講師)

・(2017年4月21日)「ミャオ族民族衣装の商品化をめぐる日中間の相互作用 - コンタクト・ゾーンの視点から -」民族藝術学会第33回大会(鴻門教育大学)

高木 義和(情報システム学科・教授)

・(2017年3月17日)「『予防接種に関する事務』にかかる特定個人情報保護評価について」「新潟市粗大ごみ受付センターにおける個人情報に関する取扱いについて」平成28年度第4回新潟市個人情報保護審議会(会長:新潟市役所)

・(2017年3月17日)「『住民基本台帳に関する事務』の特定個人情報保護評価について」「住民票の写し等の第三者交付にかかる『本人通知制度』の実施について」平成29年度第1回新潟市個人情報保護審議会(会長:新潟市役所)

藤田 美幸(情報システム学科・准教授)

・(2017年6月3日～4日)「ヘルスケア・サービスにおける擬人化したモバイルの影響」日本情報経営学会第74回全国大会(東京理科大)

・(2017年6月3日～4日) Douglas M. SCHUTZ,Masayoshi FUKUSHIMA,Miyuki FUJITA "The Role of Innovation Speed Enabled by The IoT on Medical Device Organizational Performance" 日本情報経営学会第75回全国大会(東京理科大)

矢口 裕子(国際文化学科・教授)

・(2017年3月25日)「Yoko Ono's Grapefruitを再び味わう」日本アメリカ文学会東京支部例会

弥彦村に教育・文化振興など貢献

本学は弥彦村と「包括的連携協定」を6月22日、弥彦村役場で締結しました。目的は、地域の資源の交流と活用を目的に、「教育・文化の振興」「人材育成」「地域づくり及び産業振興」「国際交流推進」を連携事業の柱に据え、相互の発展を目指します。締結式は村役場大ホールで行われ、平山征夫学長が「大学協定を結ぶのは、昨年度の魚沼市に続いて2件目です。もう一つは地域貢献ですが、もう一つは地域貢献です。」と期待を込めました。

(企画推進課)

「包括的連携協定」結ぶ 魚沼市に次いで2件目

大学と学生の力生かす



連携協定を結び、小林豊彦村長(左)と握手する平山征夫学長

小林豊彦村長は「弥彦村は特色ある教育を目指し、弥彦村教育振興計画を策定していますが、その一環である「土曜学習」

本学同窓会「みづき会」の平成29年度総会と20周年記念祝賀会が6月17日、ANAクラウンプラザホテル新潟で開催され、同窓生のほか、教職員など合わせて350人が参加し、過去最大の同窓会となりました。

総会終了後は、FM-iPORT「モーニングゲート」の人気コ



「みづき会」総会・20周年祝賀会
同窓生、教職員350人参加
FMラジオ公開収録も

8校15人ナイス発音



最優秀はチンさん 県高校生英語コンテスト

本学中央キャンパスで6月11日、国際交流フェアと第3回高校生英語スピーチコンテストが開かれました。ユエンさん。「自分を愛する」というタイトルで、明確で歯切れのいいスピーチでした。優秀賞も同様に開志国際高等学校の1年生、才ウ・シイさん、そして屋久島おおじ開志国際高等学校の1年生、才

教授 佐々木寛
(国際交流委員長 国際文化学科)
藤麻理さん&越智敏夫教授の公開収録が行われ、高橋みづき会会長、平山学長がゲスト出演し、一般リスナー約200人も加わり、大いに盛り上りました。

「大学」や「友達」をテーマに熱いトークが繰り広げられ、会場は祝賀会では豪華な料理を囲み、「やあ、変わらないなあ」「元気そうだね」と再会。にぎやかに思い出話を報告しあい、みづき会10周年記念祝賀会で封印したタイムカプセルの開封や各方面で活躍する同窓生同士の対談など、趣向を凝らしたステージイベントで、世代を超えて笑顔が広がり、大盛況のうちに幕を閉じました。

(総務課)

は、「あなたが外国语を用いて世界に発信したいこと」をテーマに、県内8校から15人が参加。

年々レベルが上がり、今年は昨年にも増して審査員の判定が難航しました。最優秀賞は、去年にも増して審査員の判定が難航しました。今年はテーマが広かつたため、会場に詰めかけた約70名の参加者も、高校生の等身大の問題についての多様なスピーチを楽しむことができたと思います。高校生諸君の真剣かつ真摯な姿勢はとてもすがすがしいものでした。

ナード「オチ付け！ニッポン!!」(遠藤麻理さん&越智敏夫教授)の公開収録が行われ、高橋みづき会会長、平山学長がゲスト出演し、一般リスナー約200人も加わり、大いに盛り上りました。